

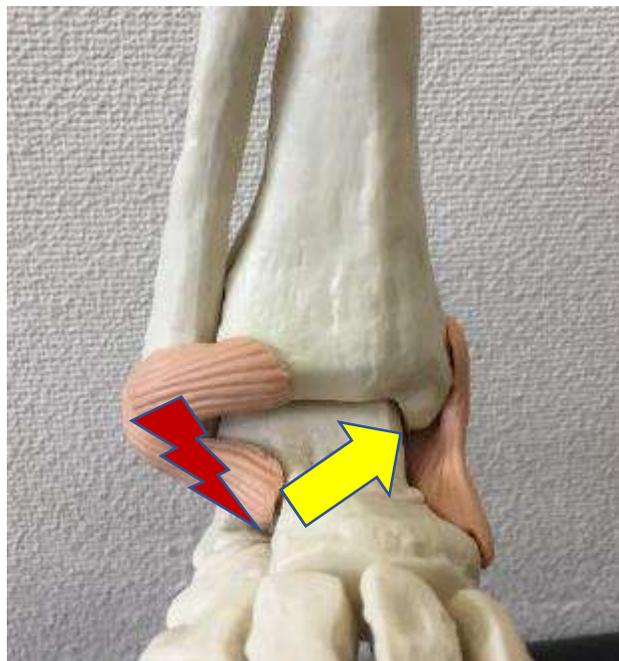
結果まとめ

- 75%近い参加者が足関節捻挫を経験
- 25%以上に5回以上の反復性捻挫の既往を認めた

超音波検診結果より

足関節の動揺性は約25%にみられ、約20%には
骨棘形成が指摘された

考察



- 足関節外側靭帯切除
✓ 距骨前方偏位、内旋

Ringleb 2005

- ✓ 距骨内側接触圧増大

Omori 2004

20%程度の参加者に骨棘形成

→ 陳旧性不安定症による障害の可能性

結論

- 現場で選手に最も近い教職員・トレーナーが
まずは、適切な現状把握と知識をもつ
- 全ての選手において日常から適切なコンディ
ショニングやリハビリテーションの必要性を
啓蒙していく

